

平成29年度 第1回「一日体験ボランティア」

平成29年7月22日（土）実施の報告 「こどもふるさとクラブ」 ネプタづくりのお手伝い

今年度第1回の「一日体験ボランティア」は、「こどもふるさとクラブ」の「ネプタづくりのお手伝い」に参加させていただきました。

体験参加者は弘前厚生学院生4名、弘前医療福祉大学短期大学部学生3名、計7名でした。

「こどもふるさとクラブ」とは中央公民館の事業である『子どもクラブ』の中の「ふるさとクラブ」のことです。活動内容は、昔の遊びをしたり工作をしたりするクラブで、小学生を対象に第4土曜日の10時～12時に行われています。

今月は「きんぎょネプタを作る」ということで、子どもたちは最初10名参加の予定でしたが、雨の天気も影響したのか5名の参加でした。講師の弘前市文化グループ「みちのくふるさと会」の会員の方々が5～6名程で、お手伝いの人数が十分足りたということで、体験参加者はクラブ活動の見学をしながら、子どもたちと一緒に折り紙できんぎょネプタを作ることになりました。

折り紙で風せんを作り、目を付けて、尾ひれ付けるという作業でしたが、ボランティアに参加した皆さんは折り紙できんぎょネプタ作りは初めてだったこともあり、子ども以上に夢中になり作業していましたが。子どもたちとお話したり、講師の方々から作り方を聞いたりしながらネプタづくりが進んでいきました。最後にはそれぞれ個性豊かなきんぎょネプタを仕上げていました。その後も余った時間で“ぴよんぴよんかえる”の折り方を教えてもらったりしていました。

「お手伝い」とはちょっと違う形でのボランティアになりましたが、体験した皆さんからは「いろいろと教えていただき楽しかった」「子どもたちと触れ合えて楽しかった」「折り紙を通じて触れ合う事の楽しさを知ることができた」という感想をいただきました。

また、別なボランティアにも参加してみたいという方もいました。

今回の「一日体験ボランティア」は、折り紙できんぎょネプタの作り方を教えてもらったことで、今度は自分たちが教えてあげる立場になり、いろいろな方々と触れ合っていくことでボランティアにつながっていくのではと思いました。